

大崎市観光振興ビジョン（案）に対するパブリックコメント

1 意見

項目またはページ数	意見の内容	意見等に対する 本市の考え方
21 ページ 22 ページ	バランスの良い産業構造についてももう少し説明が必要。(バランスの良いと言うのはどういうことなのかわかるようでわかりにくい)	このページで記載しているバランスの良い産業構造とは、地域において一次産業から4次産業までが連携を促進し相互メリットを生み出すことで、5次産業や6次産業の創出につなげていくことをしめしております。分かり易い記述になるよう検討してまいります
23 ページから 30 ページ	地域振興における基本フレームの図の中で付加価値化と言うキーワードがあるが、どのような意味を持つのか	産業連携により、提供される商品やサービスが、他の地域やそれまで提供されていたものくらべ、顧客の満足度をあげるために独自性や特性を増すことを指しております。
第5章大崎市の観光振興に向けた戦略と行動計画	<p>外からの観光客だけではなく市民に対する情報発信やおもてなし。また、人材育成に関しても戦略の中に具体的に取り込む必要があると考える。</p> <p>特に鳴子温泉は、大崎市民の奥座敷（質の高い保養地）としての地位を確立することにより、外に対して大きな発信力を持つと考えられる。これまでの様々な流れはあるにしても、大崎市内でも非常に特殊な起爆力のある産業資源であることは間違いないので、大崎市の他のエリアの市民とお互いにもっと利用し尽くすような考え方を盛り込んでも良いのではないかと考える。そのためにこれから必要なもの（今まで足りなかったもの）をビジョンにもう少し明確に表現しても良いと考える。</p>	いただいたご意見をもとに、どの様な記載が良いのか検討してまいります。尚、具体的な内容はアクションプランでお示しすることになります。

<p>41 ページ推進体制について</p>	<p>また人材の育成と、その人材を有効に使うための組織体制の確立が急務であるので、ビジョンに具体的に盛り込むことができないにしても、続く実施計画につながるように戦略の中に盛り込むことが必要であると考えます。</p> <p>①市民、②観光業者、③観光関係団体、④行政の役割について示されているが、農林商工業者の役割についても記述が必要。またそれぞれの役割について記述してあるだけなので、このビジョンを推進するために必要なそれぞれの有機的なつながりや、全体像を検討してあるべき姿の推進体制をビジュアルに表示するべきだと感じた。</p> <p>例えば、全体を通して課題や危機感を共有し地域の一体感を持つことの重要性が強調されているが、それを可能にする推進体制のあり方などをもっと具体的に表しても良いのではないかと思う。目標数値も示されているが、その他にも全体的な成果の検証を行いそれをフィードバックし次につなげていくための体制を、どこがどのように構築し推進していくのかをもっと具体的に盛りこんで欲しい。</p>	<p>いただいたご意見をもとに、どのような記載が良いのか検討してまいります。</p>
<p>42 ページ目標数値について</p>	<p>客数の目標値を設定しているのに加えて、観光客一人当たりの消費単価や大崎市内の観光物産関係（土産品やレストランなど）売り上げ統計等も加えたほうがよいのではないか。</p> <p>ベースになる統計がないのであれば、今後のことも考慮し、こうした観光産業に係る統計数値の収集分析を早急に始めるべき。</p>	<p>いただいたご意見をもとに、どのような記載が良いのか検討してまいります。</p> <p>また、統計に関しても各事業者への協力依頼を含め、検討してまいります。</p>
<p>その他</p>	<p>1) ハードの整備についてはほとんど触れられていない。</p> <p>予算を伴うものであり、ビジョンに具体的に入れるのが難しいと言う事はあると思うが、各エリアごとに課題として上がっているものがあるのも事実である。</p>	<p>いただいたご意見をもとに、どのような記載が良いのか検討してまいります。</p>

観光にとってはハードウェアの部分も重要なインフラでありその整備は民間だけでは手をつけることすらほとんど不可能な状況である。行政がしっかりやれ・民間がもっと努力しろ…という流れではなく、限られた予算の中でどのような協働ができるのか、交付税等や様々な資金基金の有効利用するための協力体制はどのようにあるべきかなど、ハードウェア整備をどのように進めていくかという一定の流れが出来るような部分もビジョンに盛り込んでいただきたい。

2) また、インターネットを使った情報発信や物販、予約、決済、割引クーポンの発行などが当たり前の世界になり、さらにスマートホンの普及により、インターネットはその使い方が我々の想像を超えるようなレベルになってきている。ビジョンの中にも、このインターネットを使った新しい仕組み作りや価値の創造といった考え方を盛り込むべき。これからは先進的な考え方を取り込みながら積極的にインターネットを展開した地域と、単なる道具としか捉えていない地域では、集客に格段の格差ができると思われる。ひいてはデジタル的に遅れた地域として定住人口の増加にも影響が出かねないと考える。

<p>P36 交通アクセス、二次交通の改善につとめる</p>	<p>大崎市営バス鬼首線のバス時刻の改善を求めます。 特に、宮城交通バスとの時刻を合わせて検討して欲しい。大崎市のHPへ仙台市交通局のようなバスの時刻検索システムをつけて欲しい。</p> <p>仙台圏からの宿泊客の交通手段を考えると、宮城交通高速バス仙台⇄鳴子間のバスが便利です。しかしながら、このバスを利用すると、全く時間がかみ合っていない。</p> <p>利用者の方に、平気で30分以上お待ちいただくようになっている。大崎市営バスの到着時刻を30分早めるだけで改善されるものもある。大崎市営バス路線の鬼首線の時刻と、宮城交通仙台鳴子間のバス時刻表を見比べてください。(例：平日 ミヤコーバス 16:25 車湯着、大崎市営バス 11便 16:08 車湯発 といった具合です。)</p> <p>宮沢温泉には土日平日関係なく大崎市営バスは停車せず、素通りなので、こちらにも迂回し、停車するといった配慮が必要だと思います。(宮沢温泉方面へは、鬼首温泉の旅館が5軒中、4軒あり、宮沢温泉(方面)のバス停は、鬼首の宿泊の要ともいえる。)</p> <p>また、この路線が実現すると、1日仙台圏で遊んだあと、宿へ戻るのに、ちょうどよい交通手段として実現することが予測される。宿泊客の方からよくお声を頂戴するのは、「よい時間帯のバスがない。交通手段がない。連れが運転し、自分は車で行き来できない。」といった声です。ぜひ、検討を視野に入れていただきたいと思えます。</p> <p>また、大崎市営バスは、【月曜～土曜日】と【日曜・祝日】</p> <p>宮城交通バスは、【月曜～金曜日】と【土曜・日曜・祝日】と、区分が異なっている。</p>	<p>いただいたご意見は、地域における現状や課題、要望ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
------------------------------------	--	---

<p>P36</p> <p>・わかりやすい道路サインの整備につとめる</p> <p>・観光協会団体と協力し、交通情報を提供する</p> <p>・わかりやすく一元化されたパンフレットを作成する</p>	<p>この区分を再検討するか、それが出来ないのであれば、HPへ仙台市交通局のような、時刻検索を大崎市のホームページにシステムとして組み込むといったことは、最低限必要なことではないでしょうか？</p> <p>間欠泉・地獄谷に向かう一方通行の道路、171号線ですが、看板を見て、進入禁止だと思い、引き返したり、川東部落方面（三叉を本来は直進が、左）に行ってしまったたり、右に行ってお墓の坂道を登ったりと、道路標識にかなり問題があるように思います。</p> <p>かんけつ泉はどこ？地獄谷はどこ？と、車が右往左往したり、一時停止したりと、道路がすんなりと通れる状況ではありません。</p> <p>観光協会の総会には、行政の方もご出席いただき、どういった話し合いが行われているのか、情報収集に努めてほしいと思います。ご出席が都合上無理なのであれば、せめて議事録だけでも読んでいただきたいと思います。</p> <p>大崎市のパンフレットは、今までは、民間に任せ、1/2補助と聞きました。</p> <p>このことが、事実かどうかは、私には分かりません。</p> <p>ただ、民間で作成するとなると、皆、日々の生活に忙殺され、こういったものを取りまとめる人材がないという現状です。行政の方のサポート・介入だったり、少なからず必要だと思います。今、鬼首温泉観光協会では、今までになかったホームページを作ろうと、頑張っています。その前段階で、パンフレットが作れないかといった提案を私からさせていただきました。</p> <p>具体的には、鬼首・虎の巻のようなパンフレットの製作の提案、これ1つあれば、観光として訪れた際、鬼首の全てが分かる！</p>	<p>いただいたご意見は、地域での現状や課題ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p> <p>いただいたご要望は、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、現状や課題、要望ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
---	--	---

ような冊子、もしくは、紙1枚を使ったパンフレットの製作。
はじめて訪れる人に簡潔に分かりやすく、親しみを持てるような内容。

(その後、パンフレットの中身を加筆する形でHP制作できないかといった提案もしました)

パンフレットの中身は、例えば・・・(総会時にお渡しした資料の一部分です。)

●鬼首の遊び方や、自然のみどころ、イベントに関する事。

鬼首にしかない、大自然。どこにあって、どう過ごすか。

鬼首で過ごす楽しみ方、モデル例。イベントなども。

→例) ○○(場所)に関するエピソード→行ってみようかな?

→例) 観光汽船ってどこで乗れるの?いくら?

→例) 今日は、観光客も見れるイベントや祭りがあったのかあ、知らなかった、見れなくて残念!(参加していいものはどれなの?)

●営業に関する事

かんけつ泉等の営業時間や定休日、問い合わせ電話番号など、観光地として最低限の営業に関する総合的な案内。

→例) 間欠泉閉まっていた!⇒定休日は水曜日です。

→例) 荒雄湖畔公園が封鎖されている??⇒開門時間が決まっています。

●食に関する事。

鬼首ならではの食べ物。

→例) せっかく来たんだから、地元の美味しいものを食べたいけど、何があるんだろう??ここでしか食べれない物って何?

→例) 地酒を飲みたい、お土産に欲しいけど・・・
どこにどんなものがあるの?どこで買えるの?

●お土産に関する事。

鬼首ならではのお買いもの。

→例) せっかく来たんだから、ここでの記念品が欲しいけど、
何があるの?どこで買えるの??

●宿泊先に関する事。

日帰り温泉の時間、大まかな料金、電話番号など。

→例) ぶらっと来てみたけど、いくらから泊まれるの・・・?

●地図に関する事。

簡易的な、イラストによる地図の作成。

立地的に、鳴子から見た鬼首、

秋田から見た鬼首など、利用者目線で、多角的に考
える。といった事を、観光協会の総会で提案させて頂きました。

しかしながら、実際には、パンフレットに充てられる予算は5万円、
かつ、PC操作してデザイン出来る者が誰もいないといった実情です。
予算もなければ、自分たちでデザインすることもできない現状です
が、行政の方に全てをお任せするのではなく、自分たちでできること
をし、出来ない部分に関して、行政の方に解決策やご助言を頂きなが
ら、一緒になって制作出来たらいいのではないかと思います。私たち
民間は、どういった補助金があるのか、また、どうやって申請したら
いいのか、分からない状況にあります。

<p>P34</p> <p>・観光キャンペーンやイベントを周知し、お客様を迎える。</p>	<p>宿屋も経営していますが、鳴子でこういったイベントがあるのか、ポスターやチラシが回ってきておりません。そのため、お客様にご案内することが出来ない状況となっています。</p> <p>配布先は、支所や限られた商店などに限定されているため、公平さを欠く結果を招いています。また、鳴子近辺のイベントは分からないけれども、秋田県や山形県のイベントに関しては、ご案内できる状況となっています。なぜならば、他県であるにもかかわらず、チラシやポスターの掲示依頼として、実際に来られたり、郵送で送られてきます。こういった小さな積み重ねをすることが大事なのではないのでしょうか。</p> <p>地元のイベントは分からないけれど、余所のイベントは、分かる。といったことが起きています。</p> <p>民間の仕事だからとか、行政の仕事だからとかではなく、双方が折り合いをつけ、お互いの短所を補いあえるような協力体制がこれからの時代には必要になってくると思います。</p>	<p>いただいたご意見は、地域の現状や課題、要望ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
<p>第1章</p> <p>(1) 基本的な考え方について</p>	<p>私は鳴子温泉に生まれて育って、18歳から35歳まで親の実家ではありましたが旅館ホテルに従業員として働き、その後旅館に嫁ぎ親の介護もしながら旅館を切り盛りしてきました。2年前に娘夫婦が後継者として帰ってきて一緒に仕事をしています。鳴子温泉には当館の様に後継者が又若い経営者ががんばっている旅館商店もたくさんあります。私の実感として大崎市になってからの10年間は失望の連続でしかありませんでした。若い人たちが夢と希望を持って帰ってきてこれからがんばろうとしているときにその失望感を味わってほしくない。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>

<p>(2) 計画の位置づけについて</p>	<p>少しでも希望を見出してほしいという思いでこのビジョンを読みました。第一印象は残念なことに失望です。</p> <p>この10年間の結果は書いてありますが反省はありません。反省を検証しないと地に足の着いたビジョンは生まれないのではないのでしょうか。</p> <p>大崎市は縦に長く面積も広く当然産業も農業主体の地域、旧古川市内のような商業地、鳴子温泉のような観光主体の地域とさまざまです。それは当然のことながら旧1市6町がそれぞれに進めてきた産業振興政策の影響が残っているしこの10年間はそれを踏まえて大崎市としての産業政策が進められてきたことと思います。</p> <p>他の地域のことにはわかりませんが鳴子温泉地域に限って言えば衰退に向かって進む政策としかいえませんでした。当然結果として衰退してしまいました。その結果については現状として記載されています。しかし反省と検証がされていけませんので他人事のように書いてありさらにそれが地域の怠慢のような言い方がされています。このビジョンの策定にあたり各地域を回って懇談会を開催したようですがそのときの地域の考えはどうだったのでしょうか。地域を大切にす市民の生活を守るという最低限の政策側の考えが見えてきません。</p> <p>常に観光政策に携わっている大崎市の職員の声などは反映されているのでしょうか。私たちはさまざまな機会に職員の方々と意見を交わしお願いをし一緒に行動してきました。職員の方々の気持ちが伝わってきません。</p> <p>「宝の都・おおさき~ずっとおおさき・いつかはおおさき」大変やさしい響きの言葉であり私はこの言葉に期待しました。当然新しい大崎市の中では江戸時代から温泉地として全国に名をとどろかせていた鳴子温泉は温泉地域そのもの「鳴子温泉」という名前そのものが宝で</p>	<p>いただいたご意見は、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
------------------------	---	--

<p>第2章 (1) 今、なぜ観光か</p> <p>(2) 観光振興は人口減少時代の最優先課題</p>	<p>あるはず。伊藤市長さんは合併当初鳴子温泉にお越しになるたびにそのようなことを話されていました。鳴子温泉を大いに売り出すとおっしゃいました。そのお言葉の通りさまざまな場面で鳴子温泉の自慢話を話しておられました。それがいつの間にかあらゆるところから鳴子温泉の名前が消えてゆくことになり鳴子温泉地域内でも宝は別のものに置き換えられていった。それが鳴子温泉における観光の衰退につながっていった。先祖代々地域で守ってきたことを宝とせず新しいことだけ押し付けようとしても受け入れられない。</p> <p>観光としての産業作りと宿泊主体の鳴子温泉は考え方をまったく別物とするべき。農業主体の産業で生活してきた地域のかたがたへ向けての観光の進め方と鳴子温泉のようにすでに大昔から外からお客様として人を受け入れる観光を生活の一部としてきた地域への進め方は一律にはできないと思う。無理に同じ方法で進めようとするれば住民の意欲を失わせることになる。</p> <p>新しい発想で前向きに考えとあるが、鳴子温泉地域内で自主的に新しい発想でさまざまな活動をし観光を進めようとしている人たちのことを大崎市は見ているのだろうかと疑問に思う。すでにその人たちの中には市の政策に絶望し独自でやろうと心に決めている人もいる。</p> <p>地域に人がいなくなってしまう現在の地域の人だけで積極的な活動を望んでも無理がある。地域活動をしようと思っても今度は家業を守る人がいなくなる。</p> <p>地域に人がたくさんいるところの方法を真似ようとしても住民は疲弊してしまうだけでうまくいかないと思う。市はリーダーシップを発揮して市民が参加しやすい方法話し合ってみるべき。旧一市6町の若い人たちの横のつながりを仲人してみては。</p>	<p>いただいたご意見は、観光振興ビジョン（案）の記載内容に対する現状や課題、要望ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、現状や課題、要望ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
---	--	---

<p>(3) 観光を通じた地域産業の活性化と人材育成</p>	<p>人材育成・接客サービスのスキルアップについては必要と考えます。職人的サービスということになるとプロによる訓練とか講習とかの機会を設けてほしいと思います。私たちも常に考えていることではありますが手立てがありません。また有料で受けようとしてもその予算を確保できません。ですからスキルアップ以前の問題でとまってしまっているのが現状です。</p>	<p>いただいたご意見は、観光振興ビジョン（案）の記載内容に対する現状や課題，要望ととらえ，今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
<p>(5) 観光を取り巻く環境の変化</p>	<p>個人旅行が増えているということは、今までのように旅行会社にだけ情報発信していればよい時代は終わりました。同じ旅行会社でもインターネットで集客する旅行会社についてもっと大崎市としては勉強してほしいと思います。又個人がどのような方法で情報を見ているのかをもっと知るべきだと思います。その上でより有効な方法で情報発信をするべきです。今現在の方法は有効とは思いません。</p> <p>又、本物志向、安心安全志向というお客様の行動の変化については大崎市はそのニーズにぴったり沿うことができる地域であると考えますがその情報がうまく発信できていないと思う。それと同時に迎える側の体制作りも大事であるがそれもうまくできていない。</p> <p>たとえば体験でお客様をお呼びしようとする場合、体験の場を作る人、人を集める人、宿でもてなす人、情報を発信する人といったような役割分担をすることにより一人の負担が少なくなるしお客様の満足度を上げることにちながると思う。</p> <p>又、東京オリンピックをはじめスポーツも世界と争うことが当たり前になり力をつけるための合宿なども盛んに行われております。さまざまなプロスポーツ集団大学の部活動などが合宿地を探しているという情報もあります。お問い合わせもいただきますがスポーツ施設がない（今まで要望されたことはジム・テニスコート・スキー場・プール</p>	<p>いただいたご意見は、観光振興ビジョン（案）の記載内容に対する現状や課題，要望ととらえ，今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>

<p>(6) 地域一体型観光の推進</p> <p>(7) これからの観光を考える視点</p>	<p>など) のでご要望に応じかねています。昔は四季を通して大学生の合宿などが入っていましたが今はトータルで身体の管理をしながら練習するのでそのようなジムなどの施設が最低限必要とのことです。ただ温泉はスポーツをするうえでも非常に身体に良いとのことです。スキー場は鳴子温泉地域の人たちの冬の半年の閑散期を埋める大きな財産でした。大きなスキー大会などが開催されると冬を持ちこたえるほどの収入がありました。宿もお店も従業員として働く人も助かったのですが大崎市になってから縮小縮小でスキーに関しての関心がどんどん薄くなってしまいました。このことも鳴子を衰退させる原因になりました。季節的なことはビジョンでは語られていなかったが大事なことだと思います。</p> <p>鳴子温泉の場合人がいないため組織が機能していない又はごく一部の人のための組織になっている場合が多いと思う。これを見直さないと住民を巻き込んでの取り組みは難しい。</p> <p>人づくりに取り組むことから始める。あせらない。地域の後継者養成。鳴子町時代ドイツなどの観光先進地へ毎年短期留学を派遣して勉強してきた人たちが町を担ってきたが、高齢化となっている。スキルアップセンスアップの一番早い方法は人生観を変えるほどのショックを与える意味でドイツオ・オランダ・オーストリア・スイスなどの観光・観光農業先進地への後継者研修がいいと思う。これから10年間のビジョンの目玉にしてもいいくらいではないでしょうか。我が家では実施されるとしたら自費負担でも行かせたいと思います。</p>	<p>いただいたご意見は地域の現状や課題ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、観光振興ビジョン(案)の記載内容に対する現状や課題、要望ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。</p>
--	--	--

第3章

(1) 位置

位置として付け足したいことは山形県秋田県に隣接し鳴子温泉から秋田市山形市酒田鶴岡市へ2時間の距離にありこの先さらに交通網が整備されれば中核になりうる位置にあります。観光地を結ぶと松島・平泉・山寺などの日本有数の大観光地が車でも列車でも1時間30ほどでいけるという好立地にあります。

このことを大いに生かした観光宣伝が必要であると思います。隣接するも最上町・湯沢市などと情報を共有し一緒に宣伝する。地場産品などの物々交換的考え方。

いただいたご意見は、観光振興ビジョン（案）の記載内容に対する現状や課題ととらえ、今後の事業や観光政策に活かせるよう検討してまいります。

